

編集後記

日本機械学会技術と社会部門のニュースレター28号をお届けします

日本国内は、社会的には東日本大震災のショックからようやく徐々に立ち直ってきた感があります。しかし、技術と社会部門としては、原子力問題やエネルギー対策あるいは環境破壊問題など、技術と社会間の問題について提言や実践において、今後益々活発に活動していく必要があると感じます。

広報委員会としては、委員長は任期が終わるため来年度からは新しい委員長を迎えることになると思います。現委員長として4年間努めさせていただきました。委員長として、何か新しい提案をするでもなく淡々と過ごしてきてしまい、あれもやればよかった、これもやればよかったといろいろあり、本部門に十分に貢献できたとは言えないと思います。しかし、大きな問題もなくやって来られたのは、内外の委員の方々の支えがあったからに他なりません。ここに、関係方々へのお礼を述べさせていただきたいと思います。また、お忙しい中、本号の執筆をご担当いただいた方々へ感謝いたします。今後とも、またニュースレターの執筆に是非ご協力をお願いいたします。

追記

部門賞の内、部門功績賞受賞のお二人については、授賞式が12月のICBTTで行われたため、本号に掲載するには原稿執筆期間が短いため、今回は執筆依頼を遠慮させていただきました。ICBTT報告と共に受賞のご挨拶などは次号で執筆依頼させていただく予定です。

広報委員会委員長 佐藤 智明（神奈川工科大学）

発行： 社団
法人 **日本機械学会**

The Japan Society of Mechanical Engineers
技術と社会部門
部門長 星 朗（一関工業高等専門学校）
事務担当 曾根原 雅代

2013年1月31日発行
ISSN 2185-3177

編集：第90期 広報委員会

委員長 佐藤 智明（神奈川工科大学）
幹事 小宮 聖司（神奈川工科大学）
委員 吉田 喜一
山本 利一（埼玉大学）
加藤義隆（大分大学）